

# 自動車防災情報

## 運転中の錯覚

車を運転しているとき、いろいろな錯覚を起こしていることをご存じでしょうか？それらの錯覚が交通事故を誘引している場合もあります。どのような錯覚があるかを知っておくことは大切です。

### 錯覚1 速度の錯覚

・夜間は、周囲が暗くて見えにくいいため、速度を実際よりも遅く感じやすくなります。

また、高速道路も周囲が開けているため、速度を実際よりも遅く感じやすく速度を出し過ぎる傾向がありますから、速度を速度計で定期的にチェックしましょう。

・高速道路を降りて一般道路を走行すると、高速道路を走行していたときの速度感覚が残っていて、速い速度で走行しても速過ぎないと錯覚して、速度を出しやすいので気を付けましょう。

### 錯覚2 車の大きさによる錯覚

・同じ距離にあっても、車体の大きい車は近くに、小さい車は遠くに見えます。特に二輪車は小さいために遠くに見えやすいので注意が必要です。

・また、二輪車は速度も遅く感じやすいので気を付けて下さい。

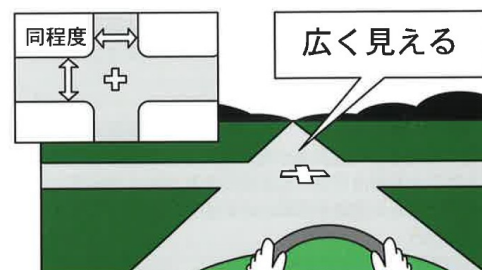


バイク、乗用車、トラックは横一列に並んでいるように見えますが、実際にはバイクが一番手前、乗用車はその後方、トラックはさらに乗用車の後方に位置しています

### 錯覚3 交差点の錯覚

・見通しの良い交差点で道幅が同じ程度の場合、自車線の方が広く見えるため、自分の方に優先権があると誤った判断をしがちです。

・また、自車の速度と相手の車の速度・角度が同じ場合、相手の車が止まって見えることがあるので注意しましょう。



### 錯覚4 カーブの錯覚

・右カーブでは対向車線の方が広く見えるので、つい対向車線に引き込まれてしまい、対向車と衝突する危険があります。

・また、左カーブでは、自車線が広く見えるのでスピードを出しやすくなり、センターラインをはみ出したり、カーブを曲がったりする時に急ハンドルとなってスリップすることがありますから注意しましょう。

